

第52回 環境安全委員会 資料1

東京PCB処理事業所 2024年度の処理・設備保全の状況 及び今後の処理見通し

2025年3月18日
中間貯蔵・環境安全事業株式会社
東京PCB処理事業所

目次

0 . 2024年度の処理状況及び今後の処理見通し(概要)	・・・ 3
1 . 2024年度の処理状況	・・・ 4
2 . 今後の処理見通し	・・・ 9
3 . PCB廃棄物の搬入・搬出・処理	・・・ 13
4 . 排出源モニタリング及び敷地境界での測定結果	・・・ 17
5 . 作業従事者の安全対策への取り組み状況	・・・ 24
6 . ヒヤリハット活動(HHK)の状況と対応	・・・ 26
7 . 教育・訓練等の実施状況	・・・ 28
8 . 施設見学の状況	・・・ 32
9 . 設備保全の実施状況及び予定	・・・ 33

0.2024年度の処理状況及び今後の見通し(概要)

■変圧器の処理

- ・2024年度は、上期2台、下期2台の計4台の処理を実施。

■コンデンサーの処理

- ・2024年度見通し232台を想定。
(2月末までの処理実績：198台 + 3月見通し34台)

■廃PCB油の処理

- ・2024年度は、新規対象の73kgを処理完了。

■廃粉末活性炭の処理

- ・2023年度にてすべて完了。

1. 2024年度の処理状況(水熱設備)

定期点検後、7月3日よりNo1系 1 基運転で安定操業中

水熱分解設備の稼働状況

設備等		2024年度												2024年度 実績見通し
		実績												
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
水熱設備稼動日数	平均												*1	104
	1	*2	定期点検 5/13-6/17		*4								*1	198
	2	 *3											*1	10
	3	*5											*1	0

*1：2025年2月末までの水熱分解設備の稼働見通し。

*2：2023年3月29日～定期点検に向け停止(2023年度は稼働実績なし)。

*3：4月17日～定期点検に向け停止。

*4：7月3日立上げ。

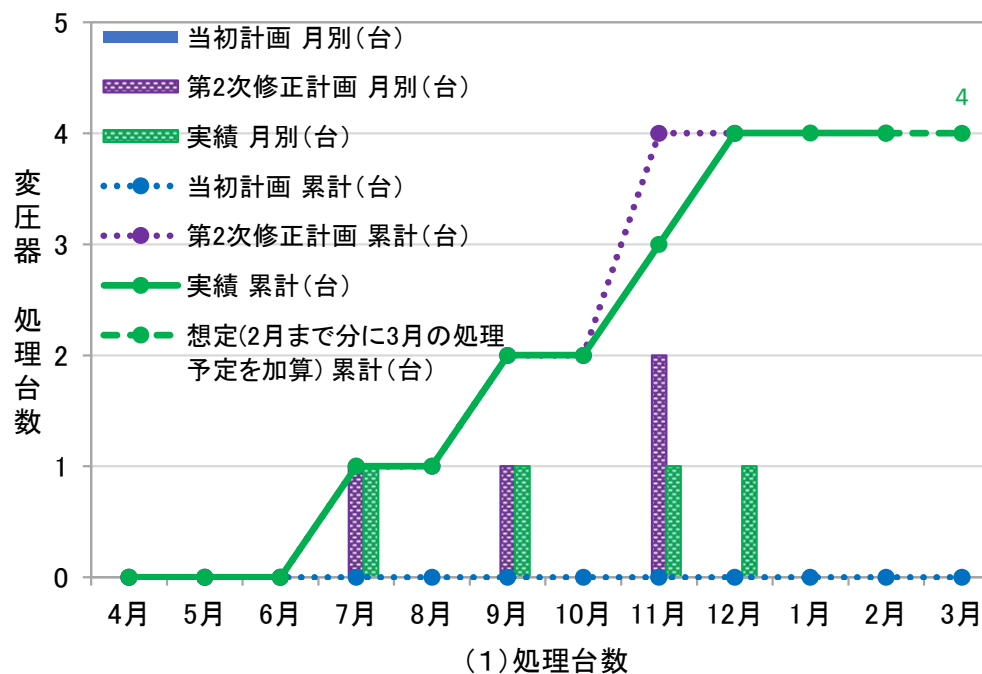
*5：2022年8月1日～休止。

1. 2024年度の処理状況(変圧器の処理)

■2024年度処理実績見通し4台

○2023年度は計画、実績とも0台(発見対象なし)。

○2024年度 は上期2台、下期2台の計4台を処理。



2024年度 変圧器の処理状況

1. 2024年度の処理状況(コンデンサーの処理)

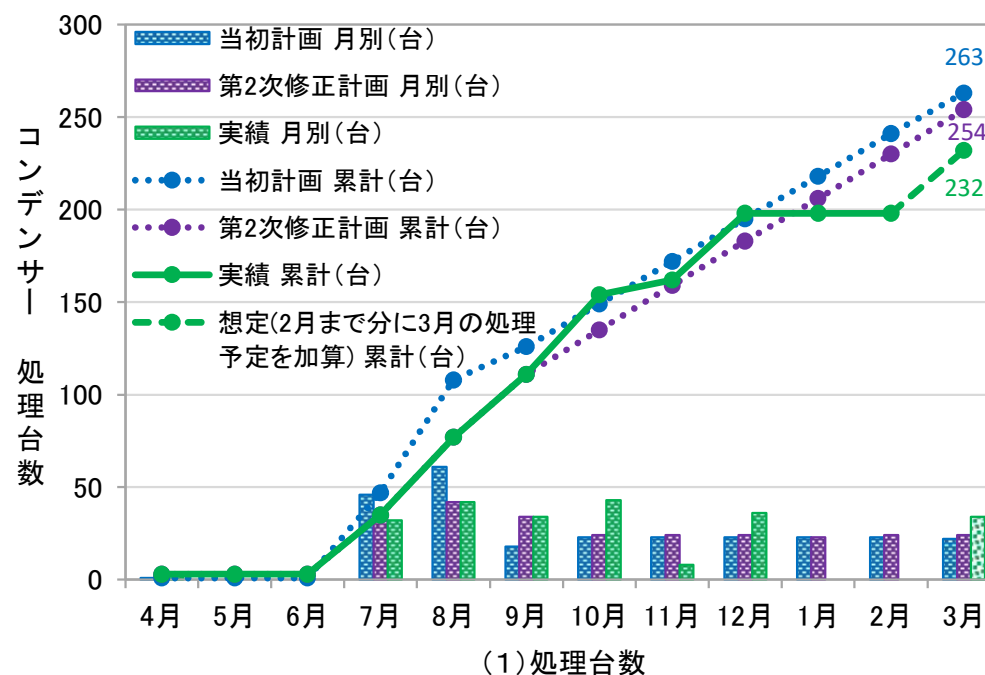
■2024年度処理実績見通し232台

○当初計画：前年度の新規登録数より263台と計画。

(2024年2月時点)

○・第2次修正計画：今年度の上期の新規登録数より254台と計画。

(2024年10月時点)



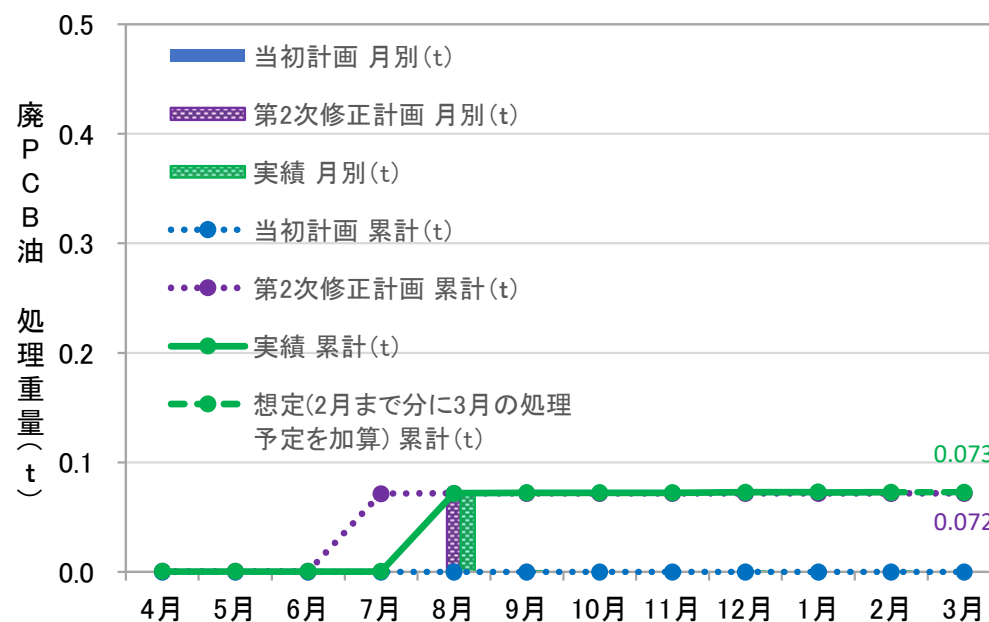
2024年度 コンデンサーの処理状況

1. 2024年度の処理状況(廃PCB油の処理)

■2024年度処理実績見通し73kg

○2024年度 上期の処理実績 72kg。

○2024年度 下期の処理実績 0.4kg。



2024年度 廃PCB油の処理状況

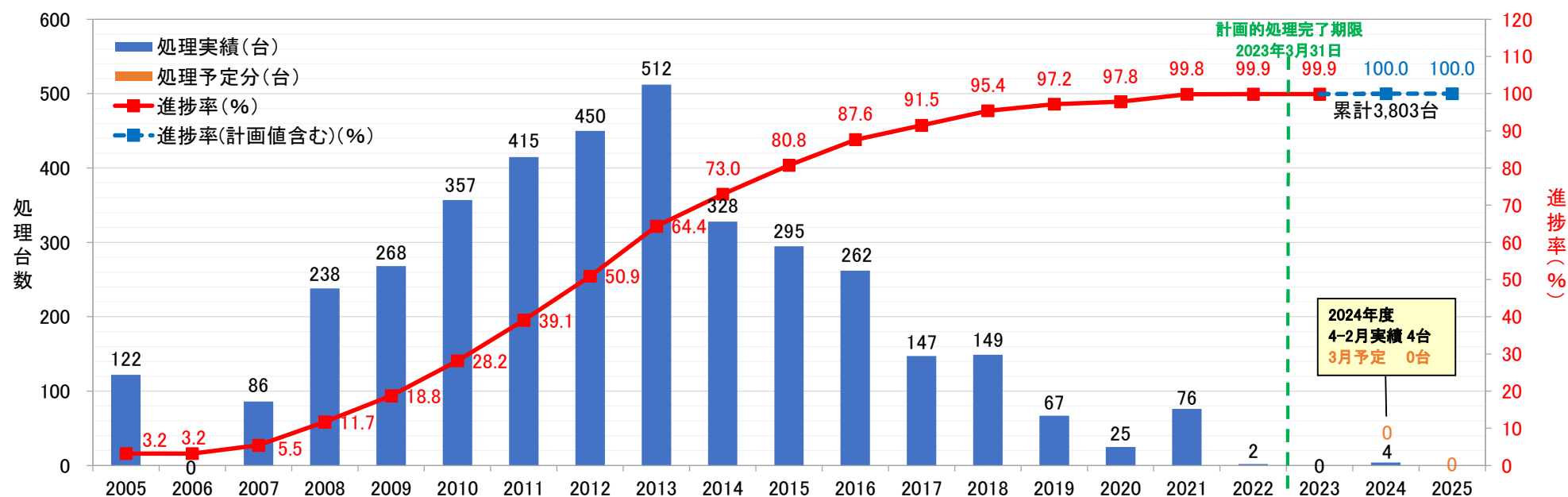
1. 2024年度の処理状況(操業開始時からの処理状況)

操業開始時からの処理状況

処理対象物	2005 年度	2006 年度	2007 年度	2008 年度	2009 年度	2010 年度	2011 年度	2012 年度	2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度 2月迄	累計	対象 数量	進捗率 (%)
変圧器 (台)	122	0	86	238	268	357	415	450	512	328	295	262	147	149	67	25	76	2	0	4	3,803	3,803	100.0
コンデンサー (台)	573	46	687	2,256	3,395	4,823	4,820	5,902	6,331	6,722	6,902	6,675	6,797	7,851	6,794	5,319	7,189	2,043	273	198	85,596	85,818	99.7
廃PCB油 (kg)	10,395	0	0	761	428	0	6,921	572	817	858	1,055	1,370	7,803	19,645	12,769	6,254	8,624	1,558	4,966	73	84,869	84,869	100.0
リン含有 PCB油(kg)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25,742	104,122	151,705	245	0	0	281,814	281,814	100.0
廃粉末 活性炭 (kg)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10,616	0	26,708	40,098	50,222	21,942	26,478	29,764	18,988	0	224,816	224,816	100.0

2. 今後の処理見通し(変圧器)

2025年度の処理理想定は0台。



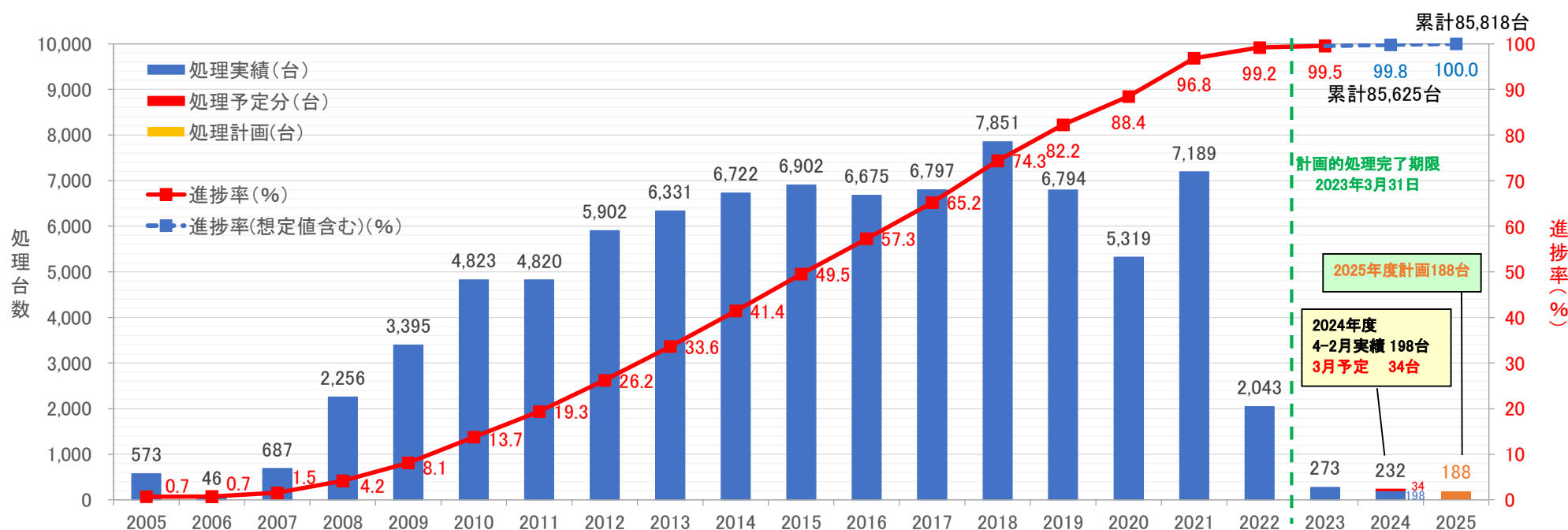
変圧器の操業開始時からの処理状況および今後の処理見通し

2. 今後の処理見通し(コンデンサー)

2023年度処理実績 : 273台

2024年度処理見通し : 232台

2025年度処理見通し : 188台

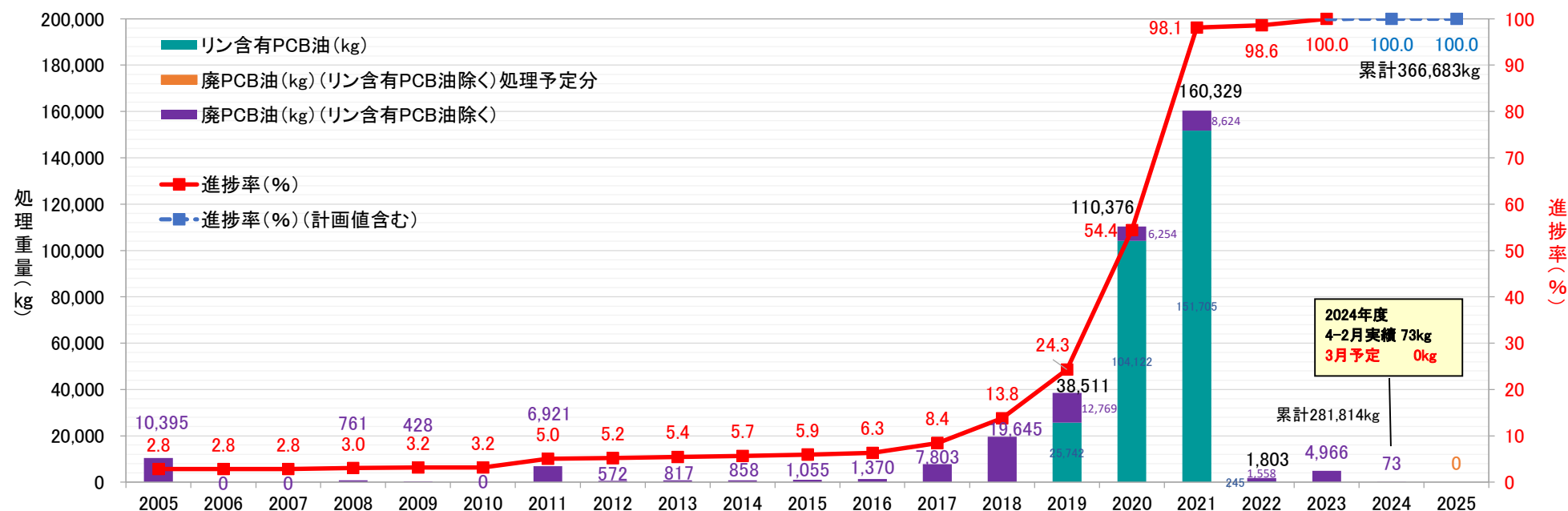


コンデンサーの操業開始時からの処理状況および今後の処理見通し

2. 今後の処理見通し(廃PCB油)

2024年度の廃PCB油は、新規対象の73kgを処理し完了。

・リン含有PCB油を除く。なおリン含有PCB油の処理は2022年度に完了。



廃PCB油の操業開始時からの処理状況および今後の処理見通し

2. 今後の処理見通し (廃粉末活性炭)

■ 廃粉末活性炭

2023年度にて全対象量の処理を完了。

廃粉末活性炭の処理見通し

種別・区分		2023年度 までの 処理量	2024年度		累計	処理 対象量
			処理計画 (修正)	実績見通し		
廃粉末 活性炭	重量 (t)	225	—	—	225	225
	[累積進捗率]	[100%]			[100 %]	
	北九州事業所	8	—	—	8	8
	大阪事業所	217	—	—	217	217

3. PCB廃棄物の搬入・搬出・処理

■ PCB廃棄物搬入車両の状況

2024年度のPCB廃棄物搬入車両の台数

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	2024年度累計※1
搬入車両台数	5	3	4	9	7	0	2	19	5	0	7	2	63

※1 2024年度2月末までの実績を示す。3月は計画台数。

年度別のPCB廃棄物搬入車両の台数の推移

年度	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024 ※1
搬入車両台数	526	644	845	731	807	872	821	833	798	696	662	925	227	103	63
(大阪事業所から※2)	—	—	—	—	—	7	0	13	20	21	11	14	15	9	0
(北九州事業所から※3)	—	—	—	—	—	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※1 2024年度は2月末までの実績を示す。

※2 大阪事業所からの廃粉末活性炭の処理は2023年度で終了。

※3 北九州事業所からの廃粉末活性炭の処理は2015年度で終了。

3. PCB廃棄物の搬入・搬出・処理

■二次廃棄物(低濃度汚染物)の搬出実績及び予定

東京都ならびに江東区との間の取り決めの運用の範囲内で対応。

・低濃度廃棄物：月6台以下、月30t以下(解体撤去物は含まず)。

二次廃棄物等の搬出状況

2024年	荷姿	数量(t)	トラック台数
4月			
5月	プラ容器	1.85	1台
	ドラム缶	0.664	1台
6月	ドラム缶	1.431	1台
7月	ドラム缶	3.237	1台
	プラ容器	2.406	1台
8月	ドラム缶	6.135	2台
	プラ容器	0.75	1台
9月	ドラム缶	3.9	2台
上期計		20.373	10台
10月	ドラム缶	4.292	3台
	プラ容器	1.645	1台
11月	ドラム缶	5.179	5台
12月	ドラム缶	2.829	3台
	プラ容器	1.64	1台
1月	ドラム缶	3.914	3台
	プラ容器	5.081	1台
2月	ドラム缶	4.342	3台
	プラ容器	1.941	1台
3月	ドラム缶	7.989	4台
	プラ容器	1.157	1台
下期計		40.009	26台
合計		60.382	36台

搬出業者：三光(株)、群桐エコロ(株)、神戸環境クリエート、三池製煉(株)、
光和精鉱(株)、杉田建材(株)

3. PCB廃棄物の搬入・搬出・処理

■ 二次廃棄物(高濃度汚染物)の搬出実績

- ・処理が困難な高濃度汚染物は北海道事業所で処理。
- ・2023年度で搬出は終了。2024年度の搬出実績はなし。
- ・下表にこれまでの搬出実績を示す。

高濃度廃棄物の北海道事業所への搬出実績(2023年度末で搬出終了)

年度	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	累計
搬出重量 kg	1,510	5,834	4,222	3,747	20,172	40,575	16,467	92,560

3. PCB廃棄物の搬入・搬出・処理

■二次廃棄物(事業所内処理物)の処理実績

- ・事業所内処理物：工事やメンテナンスにより発生した工事廃材等(金属およびプラスチック類)を洗浄処理したもの。
- ・またこのほか、高濃度廃棄物を洗浄処理、あるいは、加熱処理することで低濃度化し、無害化処理認定施設へ払出しすることも進めている。

二次廃棄物(事業所内処理物)の月別搬出状況

月度		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	2024年度 累計*2
		実績											見込み	
処理重量 (kg)*1	二次廃棄物 (事業所内処理物) (プラスチック内数)	2,121 (140)	0 (0)	0 (0)	8,197 (174)	6,406 (27)	5,962 (0)	1,707 (0)	5,962 (153)	1,235 (0)	5,001 (49)	3,551 (0)	4,350 (30)	44,492 (573)

*1 プラスチックは二次廃棄物(事業所内処理物)の内数。その他は金属運転廃棄物である。

*2 2024年度の見込みを示す。

二次廃棄物(事業所内処理物)の年度別搬出状況

年度		2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024*1	2025*2	累計
処理重量 (kg)*3	二次廃棄物 (事業所内処理物) (プラスチック内数)	0	0	0	0	0	10,746 (1,076)	15,767 (1,312)	12,122 (0)	14,746 (0)	11,472 (0)	21,267 (36)	41,613 (0)	47,080 (20)	33,935 (86)	26,766 (135)	52,190 (20)	25,739 (0)	41,299 (0)	48,728 (1,275)	44,492 (573)	31,306 (100)	479,268 (4,633)

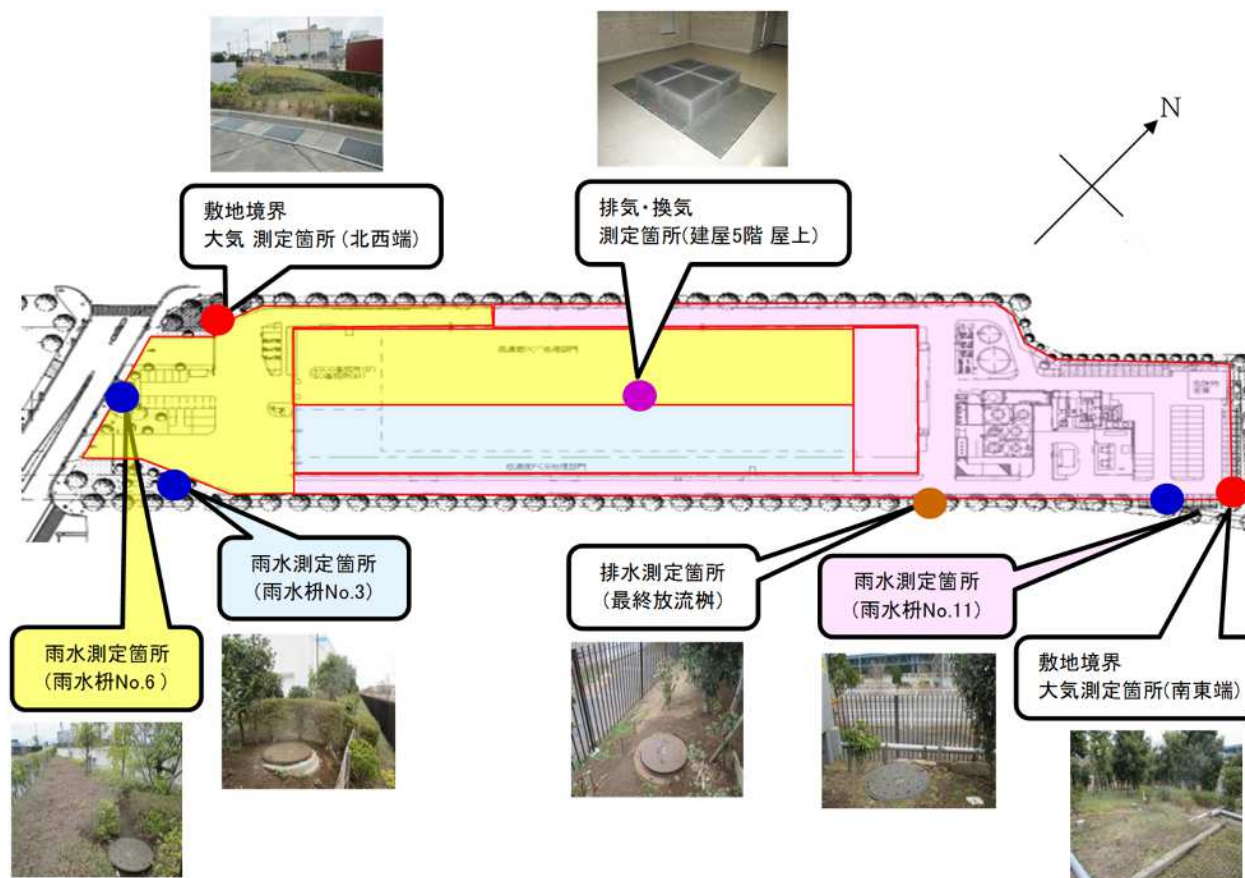
*1 2024年度見込みを示す。

*2 2025年度の見込み

*3 プラスチックは二次廃棄物(事業所内処理物)の内数。その他は金属運転廃棄物である。

4. 操業中の排出源モニタリング及び周辺環境モニタリング

■ 施設からの排気・換気や排水及び敷地境界の大気や雨水については定期的に測定を行い、処理状況とともに、東京都及び江東区へ毎月報告している。

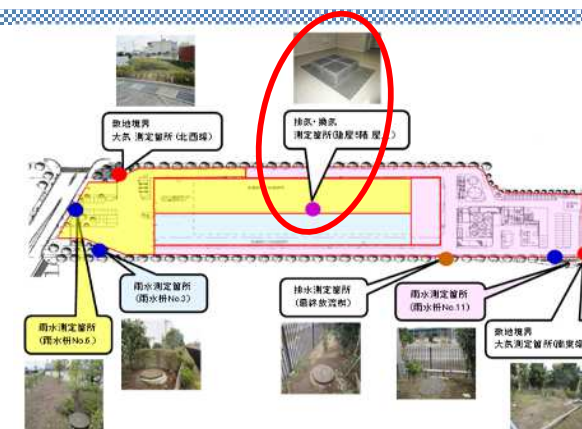


敷地境界大気質及び雨水排水枡の測定位置

4. 操業中の排出源モニタリング及び周辺環境モニタリング

■ 排出源モニタリング：排気・換気

すべて環境保全協定値を下回り、良好な状態を維持している。



排気・換気の測定結果(2024年度)

測定場所	測定項目	単位	測定結果		環境保全 評価基準	測定 頻度
			2023年度	2024年度 2月まで		
排気系統1 (水熱分解・洗浄系)	PCB	mg/Nm ³	0.0005未満～0.0007	0.0005未満	0.01以下	月1回 ¹⁾
	DXNs	pg-TEQ/Nm ³	0.0026～0.042	0.0013～0.13	100以下	年4回 ²⁾
	IPA	ppm	0.1未満	0.1未満～0.3	40以下	年4回 ³⁾
排気系統2 (解体系)	PCB	mg/Nm ³	0.0005未満～0.0007	0.0005未満	0.01以下	月1回 ¹⁾
	DXNs	pg-TEQ/Nm ³	0.22～0.86	0.16～0.46	100以下	年4回 ²⁾
換気系統1 (水熱分解・洗浄系)	PCB	mg/Nm ³	0.00005未満～0.00064	0.00009～0.00015	0.001以下	月1回 ¹⁾
	DXNs	pg-TEQ/Nm ³	0.032～0.18	0.011～0.13	5以下	年4回 ²⁾
換気系統2 (解体系)	PCB	mg/Nm ³	0.00005未満～0.00019	0.00007～0.00011	0.001以下	月1回 ¹⁾
	DXNs	pg-TEQ/Nm ³	0.028～0.22	0.011～0.17	5以下	年4回 ²⁾

1) PCBは、協定の年間4回に対し、自主測定も含め毎月実施している。

2) DXNsは、協定の年間2回に対し、自主測定も含め年4回(4月、7月、10月、1月)実施している。

3) IPAは、協定で年間2回(7月、1月)実施している。

4. 操業中の排出源モニタリング及び周辺環境モニタリング

■ 排出源モニタリング：排水

すべて環境保全協定値等を下回り、良好な状態を維持している。



排水の測定結果(2024年度)

測定項目	単位	測定結果		環境保全協定値等	測定頻度
		2023年度	2024年度		
PCB	mg/l	0.0005未満	0.0005未満	0.0015以下	月1回 ¹⁾
pH	—	7.8～8.4	7.8～8.4	5を超え9未満	月1回 ³⁾
n-Hex抽出物質	mg/l	1未満	1未満	5以下	月1回 ³⁾
BOD	mg/l	0.5未満～4.6	0.5未満～3.5	600未満	月1回 ³⁾
SS(浮遊物質)	mg/l	1～7	1未満～4	600未満	月1回 ³⁾
N(全窒素)	mg/l	3.5～6.7	3.4～7.9	120未満	月1回 ³⁾
DXNs	pg-TEQ/l	0.020～2.5	0.038～0.76	5以下	年2回 ²⁾
Zn(亜鉛)	mg/l	0.05未満～0.20	0.05未満～0.16	2以下	月1回 ³⁾
P(リン)	mg/l	0.06未満～0.15	0.06未満～0.14	16未満	月1回 ³⁾

1) PCBは、協定で年間4回であるが、毎月実施している。

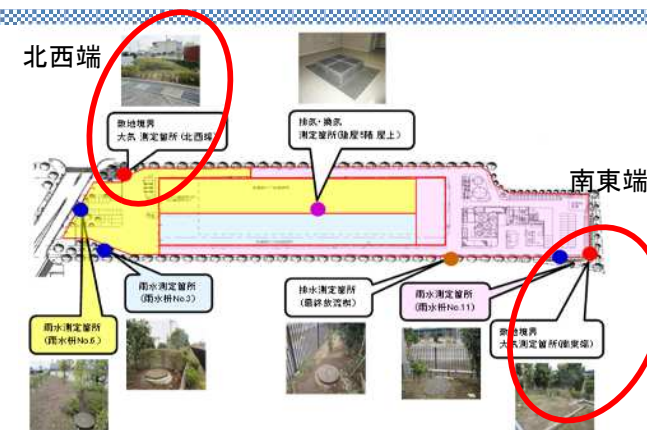
2) DXNsは、協定で年間2回(7月,1月)実施している。

3) その他の測定項目は、自主測定として毎月実施している。

4. 操業中の排出源モニタリング及び周辺環境モニタリング

■ 周辺環境モニタリング：敷地境界の大気質 (PCB)

すべて定量下限未満で、管理指標としている暫定排出許容限界を下回っている。



敷地境界の大気測定結果 (PCB)

測定項目	測定箇所	測定日	測定結果	風向	参考指標 ¹⁾	測定頻度 ²⁾
PCB mg/m ³	南東端	2024.4.10～17	0.00005未満	南南西	0.0005 以下	年4回
		2024.7.16～23	0.00005未満	南		
		2024.10.2～9	0.00005未満	北東・南南西		
		2025.1.22～29	0.00005未満	北北東		
	北西端	2024.4.10～17	0.00005未満	南南西	0.0005 以下	年4回
		2024.7.16～23	0.00005未満	南		
		2024.10.2～9	0.00005未満	北東・南南西		
		2025.1.22～29	0.00005未満	北北東		

1) 参考指標は環境庁大気保全局長通達(昭和47年環大気141号)に基づき、暫定排出許容限界を採用する。

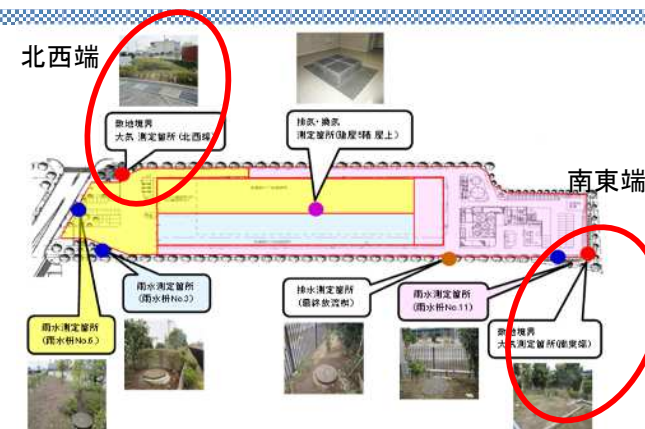
2) 環境保全協定書における測定頻度は年1回であるが、現在は自主測定として年4回実施している。

4. 操業中の排出源モニタリング及び周辺環境モニタリング

■ 周辺環境モニタリング：敷地境界の大気質 (ダイオキシン類)

今年度4季(2024/4～2025/1月)の年平均では環境基準値(参考指標)以下であった。

2024年度10月の秋季測定では、 $0.76 \sim 1.0 \text{ pg-TEQ/m}^3$ と高い値であるが、これは南風の時の周辺環境の影響によるものであり、処理や設備保全に係る作業・工事によるものではない(前回第51回環境安全委員会にて報告済み)。



敷地境界の大気測定結果 (DXNs)

測定項目	測定箇所	測定日	測定結果	風向	年平均値	参考指標 ¹⁾	測定頻度 ²⁾
DXNs pg-TEQ/m ³	南東端	2024.4.10～17	0.066	南南西	0.271	年平均 0.6以下	年4回
		2024.7.16～23	0.21	南			
		2024.10.2～9	0.76	北東・南南西			
		2025.1.22～29	0.046	北北東			
	北西端	2024.4.10～17	0.16	南南西	0.404	年平均 0.6以下	年4回
		2024.7.16～23	0.37	南			
		2024.10.2～9	1.0	北東・南南西			
		2025.1.22～29	0.087	北北東			

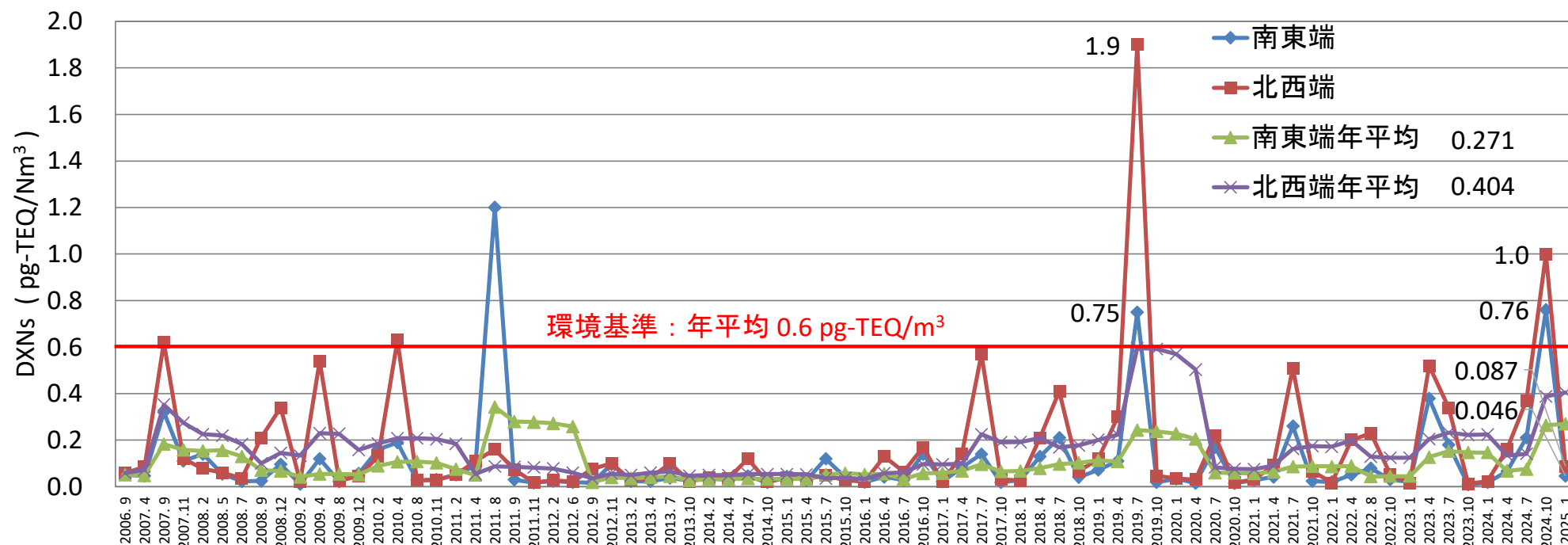
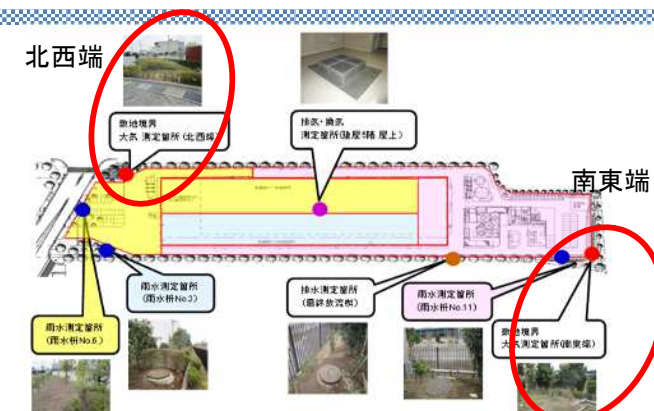
1) 「東京PCB処理事業所 PCB処理施設の解体撤去における排出源モニタリング及び周辺環境モニタリングに関する基本的対応」(2023.10.30承認,東京事業部会)に基づく。

2) 環境保全協定書における測定頻度は年1回であるが、現在は自主測定として年4回実施している。

4. 操業中の排出源モニタリング及び周辺環境モニタリング

■ 周辺環境モニタリング：敷地境界の大気質 (ダイオキシン類)

下図に敷地境界のDXNsの大気測定結果の推移を示す。
主風向が南寄りの夏季の測定結果を引き続き注視していくとともに、今後は他の季節でも風向に留意しつつ、監視を継続していく。



敷地境界の大気測定結果(DXNs)の推移

4. 排出源モニタリング及び敷地境界での測定結果

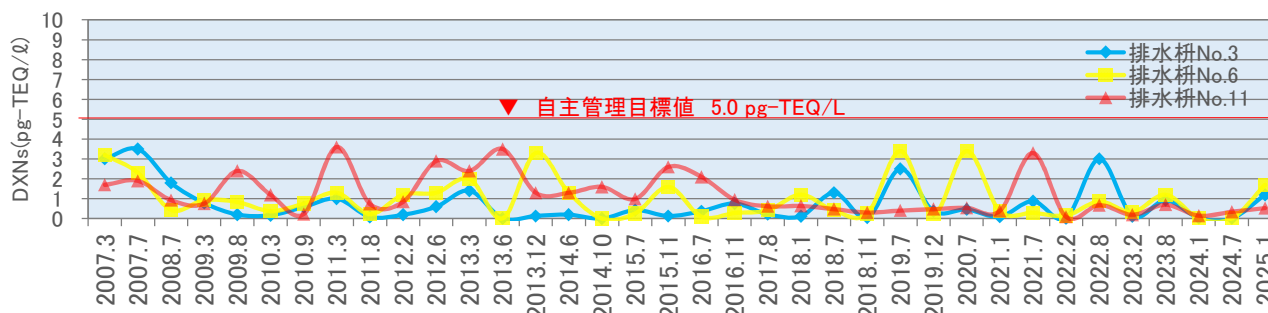
■ 雨水（PCB、ダイオキシン類）

いずれも自主管理目標値(環境保全協定値)を下回っていた。
 外部からの影響(夏場の南寄りの風等)のため、測定値が突出する場合があります、引き続き傾向を注視していく。

雨水のPCBとダイオキシン類の測定結果(2023年度)

測定箇所	測定項目	単位	測定日	測定結果	環境保全協定値	測定頻度 ¹⁾
No.3雨水枡	PCB	mg/ℓ	2024.7.23	0.0005未満	0.0015以下	年2回
			2025.1.23	0.0005未満		
	DXNs	pg-TEQ/ℓ	2024.7.23	0.011	5以下	年2回
			2025.1.23	1.2		
No.6雨水枡	PCB	mg/ℓ	2024.7.23	0.0005未満	0.0015以下	年2回
			2025.1.23	0.0005未満		
	DXNs	pg-TEQ/ℓ	2024.7.23	0.010	5以下	年2回
			2025.1.23	1.7		
No.11雨水枡	PCB	mg/ℓ	2024.7.23	0.0005未満	0.0015以下	年2回
			2025.1.23	0.0005未満		
	DXNs	pg-TEQ/ℓ	2024.7.23	0.35	5以下	年2回
			2025.1.23	0.53		

1) 環境保全協定書における測定頻度は年1回であるが、自主測定を含め年2回実施している。



外部からの影響(夏場の風向に起因)のため、測定値が突出する場合があります。対策としては、清掃等を実施している。

5. 作業従事者の安全対策への取り組み状況

■ 作業環境の維持・向上

JESCO及び運転会社は、協同でPDCAを回しながら課題解決を図り、作業環境の維持・向上に取り組んでいる。

- ◆労働安全衛生法に基づく年2回(夏季、冬季)の作業環境測定を行っている。

対象作業場：PCBを取り扱う作業場(現断面では「除染室」のみ)

(2023年度夏季は、「コア解体鉄心解体(囲い場)」、「コア解体小物解体(囲い場)」の両箇所では、変圧器の処理がなかったことから、測定は行っていない。)

- ◆法定測定結果について、除染室の測定結果は、同法に基づく第1管理区分であり、良好な状態を維持している。

5. 作業従事者の安全対策への取り組み状況

■ 血液中PCB濃度の測定に基づく作業者の健康管理

- ◆ 作業従事者の血液中PCB濃度の基準値 25ng/g-血液 以下
⇒ 毎年8月の定期健診時に測定：超過者なし。
- ◆ 東京事業所の自主管理目標値：10ng/g-血液以下
⇒ 全作業従事者が目標達成。
- ◆ 自主管理目標超過者への対応
自主管理目標値以下に低減するまで、PCB暴露がない作業への配置換え、作業制限等の個別 フォローを実施。

6. ヒヤリハット活動(HHK)の状況と対応

- 作業員個々の危険予知の感性向上のため、出来るだけ多くのヒヤリハット報告を呼びかけ、2024年度は2月末までに372件が提出された。

作業員数、処理対象物の減により、例年よりは若干少ないものの、活発な活動を継続している。

- 改善提案の提出を作業員に促すことで、作業安全の向上を図っており、2024年度2月末までに50件の提案があった。
処理量が減少しても更なる改善に継続して取り組んでいる。

6. ヒヤリハット活動(HHK)の状況と対応

ヒヤリハット活動の報告件数

項目		年度																				累計 ¹⁾
		2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024 ¹⁾	
リスクレベル	IV重大 (15点以上)	-	-	-	0	0	0	1	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
	III問題あり (10～14点)	-	-	-	6	6	16	18	19	10	9	1	2	2	0	0	0	0	0	0	0	89
	II多少問題あり (6～9点)	-	-	-	54	77	99	122	188	144	138	225	168	265	295	238	135	34	11	9	4	2,206
	I殆ど問題なし (3～5点)	-	-	-	189	153	163	208	250	394	569	506	503	392	426	513	700	657	745	561	368	7,297
	合計	-	23	263	249	236	278	349	457	553	716	732	673	659	721	751	835	691	756	570	372	9,884
体験ヒヤリ		-	20	207	179	167	185	150	111	135	104	44	53	29	78	87	57	22	10	9	4	1,651
想定ヒヤリ		-	3	56	70	69	93	199	346	418	612	688	620	630	643	664	778	669	746	561	368	8,233

1) 2024年度2月末まで。

2) 2005年7月「ヒヤリハット報告・事故、災害防止要領」を制定し、2006年度より運用開始。

3) 2006～2007年度はリスクレベル分類基準が現行と異なるので、総数のみ記載した。

改善提案の件数

効果	年度																				累計 ^{1), 2)}
	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	
提案件数	-	-	-	183	263	118	132	116	108	76	67	88	79	71	57	74	62	66	50	50	1660
提案件数(累積)	-	-	-	183	446	564	696	812	920	996	1063	1151	1230	1301	1358	1432	1494	1560	1610	1660	
安全性・信頼関向上	-	-	-	140	210	87	86	77	75	60	61	79	59	45	37	39	26	33	29	10	1153
作業性・業務効率化	-	-	-	144	209	78	97	74	77	42	57	49	47	50	32	30	22	36	24	9	1077
コストダウン	-	-	-	11	21	8	9	8	9	5	1	1	0	2	1	4	0	10	0	2	92
作業環境改善	-	-	-	25	110	46	49	32	23	21	10	12	10	8	8	18	7	18	19	29	445
その他	-	-	-	5	11	4	2	2	1	2	2	6	3	2	2	8	27	20	3	8	108
合計	-	-	-	325	561	223	243	193	185	130	131	147	119	107	80	99	82	117	75	58	2875

1) 2024年度の見込みを含む。

2) 効果区分は複数該当するものもあるため、合計は提案件数を超えている。

3) 2008年1月「改善提案実施要領」を制定し、2008年度より運用開始。

7. 教育・訓練等の実施状況

■安全教育・訓練の実施状況

- ◆ 2024年度2月末までに実施した安全教育・訓練は50件で、延べ2345名が受講した。また、定期点検期間を活用して、安全衛生関連の特別教育等を実施した。



漏洩時対応訓練(5/22)



実践KY活動研修会(6/3)



ハーネスによる救助訓練(5/16)



クレーン教育(5/14)

7. 教育・訓練等の実施状況

◆ 総合防災訓練

- 毎年、深川消防署と連携して、総合防災訓練を実施。
- 11月20日に、東京都ご視察の下で実施。
- 地震発生・漏洩・火災を想定し、避難、自衛防災体制による初期消火、深川消防署の消火活動支援を実地訓練。



令和6年度放水訓練



災害対策本部での対応

7. 教育・訓練等の実施状況

◆ 緊急時通報訓練

- ・ 夜間・休祭日の運転会社体制時(JESCO不在)における緊急事態発生を想定した、JESCO社員及び運転会社上長への情報連絡訓練。
- ・ 年3回計画し、2024年度は4月18日、9月24日、12月11日に実施。

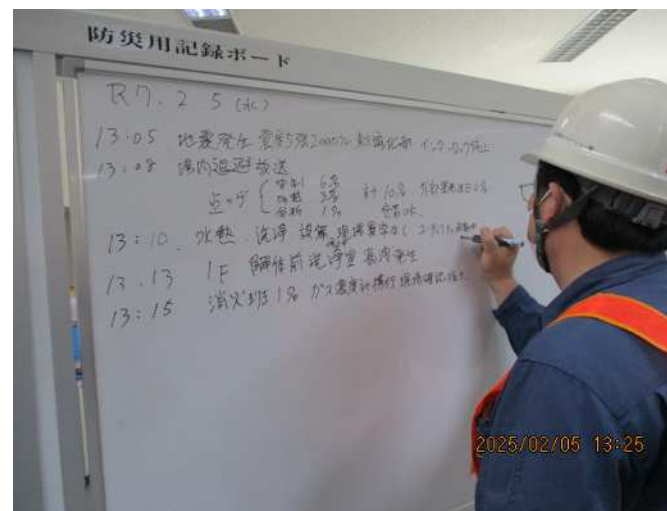
通報訓練結果（令和6年12月）														
受発信時間			受信者からの返信メールを受信した時間											
当直長（試験）	受信													
	発信	19:00												
運営課長	受信	19:00	～中継から											
	受信	19:03	～所長に連絡（所長に指示を受ける）											
	発信	19:06	19:08	19:12	19:08	20:01	19:31	20:13	20:04	19:42	19:03	19:45		
			19:10	19:13	電話連絡： 19:41大木、19:42福田（留守電）、19:44鹿田（留守電）、 （19:45市川、19:58加藤）									
安対課長	受信	19:06												
	発信	19:36	19:39	19:39	20:10	19:37	20:08	19:37						
総務課長	受信	19:06												
	発信	19:29	19:53	21:48	23:09	21:33	19:58	20:10						
解体PT1	受信	19:06												
	発信	19:11	19:52	7:13	19:18									
解体PT2	受信	19:06												
	発信	19:07	19:38	19:10	19:39	19:40								
運営1	受信	19:42												
	発信	19:44	20:11	20:07	19:53	20:17	19:53							
運営2	受信	19:07												
	発信	19:15	19:19	19:19										
営業課長	受信	19:41												
	発信	19:43	19:45	21:13	21:02	8:13	20:13							
運転会社	受信	19:02												
	発信	19:11	19:13	20:05		20:57	19:13	19:15	19:12	19:35	19:13	19:12	19:13	19:13

通報訓練結果の一例

7. 教育・訓練等の実施状況

◆夜間休日緊急時対応訓練

- 交替勤務(4直体制)直ごとで防災訓練を2024年度は12月18日、1月10日、2月5日、2月18日に実施した(各直1回、計4回)。
- JESCOと運転会社で訓練状況を確認し、訓練終了後に意見交換を行うことで、参加者の気付き等を以降の訓練に反映し、対応力強化に努めた。



夜間休日緊急時対応訓練の様子

8. 施設見学の状況

- ◆2024年度は2月末までに、10件108名の見学者を受け入れ、感染防止対策マニュアルに従ってご案内した。
- ◆ビデオ動画をホームページ上で公開し、より多くの方々に理解を頂くよう努めている。

施設見学件数・見学者数

年度	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024 ¹⁾	累計 ¹⁾
件数 (件)	65	85	130	143	147	114	69	90	92	69	68	90	78	44	36	0	4	13	6	10	1,343
見学者数 (名)	1,048	1,310	1,938	1,669	1,578	1,292	596	823	1,235	665	861	813	816	540	513	0	13	142	120	108	16,080

1) 2024年度2月末までの実績

9. 設備保全の実施状況

■ 「本格解体撤去工事完了までの施設の維持保全計画」に基づき、事業終了準備期間の2024年度の主な設備保全の実施状況

- ◆ 主要処理設備(水熱分解設備、洗浄設備、及び加熱設備等)や換気空調設備およびユーティリティー設備、モニタリング装置等)は従来通りの保全対応とした。
- ◆ 水熱設備では、通常実施している反応器管台、熱交換器出口連絡管、及び、蒸気漏洩トラブル以降に追加した箇所腐食・減肉点検を継続して健全性を確認した。
- ◆ ダイオキシン対策管理の一貫として、2019年より毎年度、用役系/液処理系の排水活性炭ろ過器等の活性炭交換、排水貯槽等の清掃を実施し、これを継続した。
- ◆ 特高・高圧受電設備では、特高受変電設備の機器を構成する電装部材の一部について更新を実施。残りについては2025年度及び2026年度の定期点検時に更新を実施予定